

令和4年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S01-01-01		
施設名	荒川さつき会館				
所在地	荒川八丁目16番13号				
部課名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成元年 422,749	422,749		
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	平成元年4月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成元年6月1日		職員数	3	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	2階	
面積	敷地面積			2,209.16m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	延床面積			1,499.58m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与するとともに、人権施策の推進を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川さつき会館条例				
駐車場の状況	5台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	19台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	その他	一部委託 (管理業務・清掃業務)	期間	平成元年	から まで
事業内容	(1) 区民が相互に交流を深め、自主的活動を進めるための場の提供に係る事業 (2) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (3) 人権問題に係る啓発に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業				
対象者	区内在住・在勤・在学の方 (団体利用は事前の団体登録が必要)				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	原則として、年末年始 (12月29日～翌年1月3日)			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込み)
		年間利用者数 (数)	29,694	47,317	9,717	10,324
年間利用可能日数 (日)	339	321	212	147	227	
年間団体利用件数 (件)	1,653	2,247	789	726	1,254	
部屋別団体利用回転率 (%)						
体育室	75	93	72	79	81	
会議室・講習室・視聴覚室・和室	13	21	8	10	13	
に指定 等 管理 費理						

備考 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための夜間の利用制限やワクチン接種会場としての使用、給水設備及びトイレ便器洋式化工事のための休館により、年間利用可能日数・年間団体利用件数が減少した。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

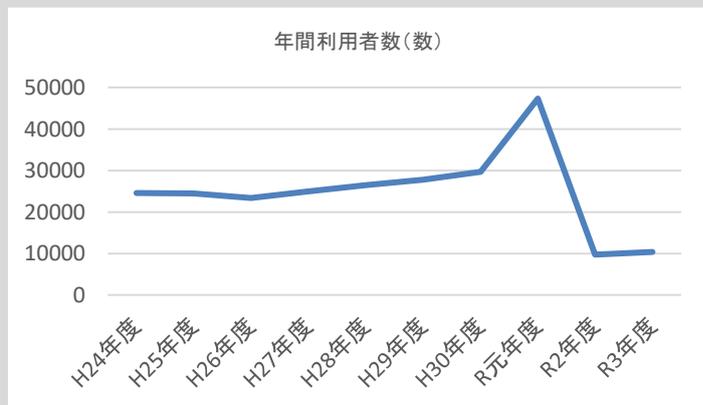
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	12,258	12,431	173	地方税等	0	0
	物件費	10,893	11,406	513	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	3,696	14,368	10,672	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	87	39	▲ 48	使用料及び手数料	642	403	▲ 239
	減価償却費	11,624	12,196	572	その他	1,084	113	▲ 971
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	1,726	516	▲ 1,210
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,783	2,524	741	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 38,907	▲ 52,448	▲ 13,541
	その他行政費用	292	0	▲ 292	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	40,633	52,964	12,331	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 38,907	▲ 52,448	▲ 13,541
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 38,907	▲ 52,448	▲ 13,541
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債	660	665	5
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	660	665	5
	有形固定資産	1,170,688	1,158,492	▲ 12,196	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,085,884	1,085,884	0	固定負債	5,361	7,848	2,487
	建物	439,065	439,065	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 354,261	▲ 366,457	▲ 12,196	退職給与引当金	5,361	7,848	2,487
	工作物等	10,233	10,233	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 10,233	▲ 10,233	0	負債の部合計	6,021	8,513	2,492	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,164,667	1,149,979	▲ 14,688	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,164,667	1,149,979	▲ 14,688	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,170,688	1,158,492	▲ 12,196	
資産の部合計	1,170,688	1,158,492	▲ 12,196					

備考 令和3年度は、給水設備及びトイレ便器洋式化改修工事を実施したことにより、維持補修費が増加している。また、令和2年度のパーゴラ撤去工事が完了したことにより、その他の行政費用が減少し、工業用水切替工事が完了して都からの工事精算金収入がなくなったことにより、行政収入 (その他) が減少している。

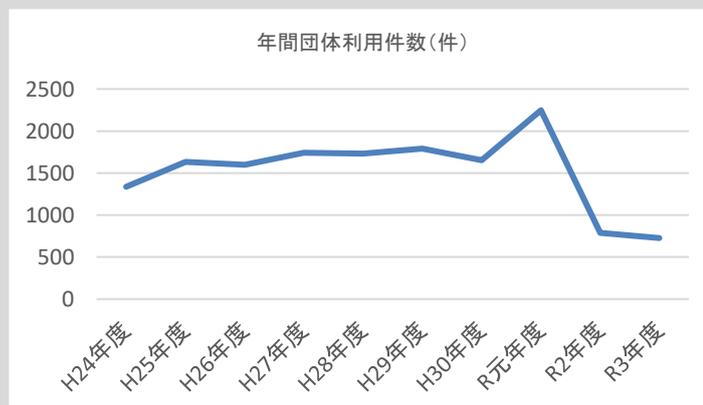
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	77	80	81	83.8	
	1㎡当たりコスト(円)	23,745	29,942	27,096	35,319	
	人にかかるコストの割合(%)	29	27	35	28.2	
	受益者負担比率(%)	3	2	2	0.8	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,199	949	4,182	5,130	
	開館1日当たりコスト(円)	105,035	139,879	191,665	360,299	
備考	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための夜間の利用制限やワクチン接種会場としての使用、給水設備及びトイレ便器洋式化工事のための休館により開館日数が減少したため、「開館1日当たりのコスト」が高くなっている。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	団体利用回転率	24	35	19	25	26
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地域住民の相互交流の拠点として、人権啓発を推進していくために必要性は高い。					
現状・課題	○人権施策推進の拠点及び地域住民の相互交流としての会館づくり 地域住民の相互交流を促すとともに、人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行う必要がある。 ○利用率の向上 体育室以外の各室(会議室・講習室・視聴覚室・和室)の利用率向上に向けて、更なる有効活用を図る必要がある。 ○施設の老朽化 開館から30年以上経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきている。					
課題に対する現時点での考え	○人権施策推進拠点として、人権問題を身近な問題として考えてもらえるような啓発・相談事業を引き続き行っていく。また、地域の交流拠点としての在り方について検討していく。 ○体育室以外の各室の利用率向上のため、事業の企画や見直しなどを検討していく。 ○施設の老朽化及び施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買替え等を計画的に行っていく。					
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について					



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための夜間の利用制限やワクチン接種会場としての使用等により、利用者数が横ばいとなっている。



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のための夜間の利用制限やワクチン接種会場としての使用等により、団体利用件数が減少している。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S01-01-02		
施設名	男女平等推進センター（アクト21）				
所在地	東尾久五丁目9番3号				
部課名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成8年			
	増改築① 増改築②				
併設施設	熊野前ひろば館				
竣工年月日	平成8年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成8年7月	職員数	3	0	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階・地下2階		
面積	敷地面積	1031.56㎡			
	延床面積	1468.65㎡			
設置目的・経緯	女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現をめざすための拠点とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立男女平等推進センター条例、同施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業(4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業(5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業(6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業				
対象者	男女平等推進団体、一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、定期清掃日（年4回）			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
	施設利用者数（人）		42,796	37,571	16,502	41,357
利用可能日数（日）		354	353	301	355	355
相談件数（件）		351	358	336	241	261
貸出施設利用件数（件）		1,776	1,598	842	1,795	1,812
に指定 等管理 費理						

備考 施設利用者数の推移について、コロナ禍で元～3年度は一部事業を中止したほか、元年度は1か月間ホール及び交流コーナーの休止、2年度は2か月間休館及び6か月間交流コーナーの休止のため、利用者数が減少した。3年度は1か月間交流コーナーを休止したが、2か月間コロナワクチン接種会場になったため利用者数が増加した。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	20,594	21,348	754	地方税等	0	0
	物件費	20,647	22,510	1,863	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	14,156	1,245	▲ 12,911	都支出金	73	0	▲ 73
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3,100	2,895	▲ 205	使用料及び手数料	723	3,074	2,351
	減価償却費	25,952	25,952	0	その他	62	73	11
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	858	3,147	2,289
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,995	4,335	1,340	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 87,200	▲ 75,138	12,062
	その他行政費用	614	0	▲ 614	金融収支差額(d)	0	▲ 4	▲ 4
	行政費用合計(b)	88,058	78,285	▲ 9,773	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 87,200	▲ 75,142	12,058
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 87,200	▲ 75,142	12,058
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,110	1,142
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	948,500	922,548	▲ 25,952	賞与引当金	1,110	1,142	32
	土地	636,112	636,112	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	961,193	961,193	0	固定負債	21,007	25,477	4,470
	建物減価償却累計額	▲ 648,805	▲ 674,758	▲ 25,953	特別区債	12,000	12,000	0
	工作物等	7,279	7,279	0	退職給与引当金	9,007	13,477	4,470
	工作物等減価償却累計額	▲ 7,279	▲ 7,279	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	22,117	26,619	4,502	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	926,383	895,929	▲ 30,454	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	926,383	895,929	▲ 30,454	
資産の部合計	948,500	922,548	▲ 25,952	負債及び正味財産の部合計	948,500	922,548	▲ 25,952	

備考 令和2年度の地下ホール空調設備改修工事が完了したため、維持補修費が大幅に減少している。また、令和2年度に加圧給水ポンプ取替工事を実施したため、その他行政費用が発生している。令和3年度は前年度に比べ新型コロナウイルス感染の影響が少なくなったため、行政収入（使用料及び手数料）が増加したとともに、光熱水費の増により物件費が増加している。

指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	62	65	68	70.4	
	1㎡当たりコスト(円)	49,975	50,634	59,958	53,304	
	人にかかるコストの割合(%)	30	32	27	32.8	
	受益者負担比率(%)	6	5	1	3.9	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,715	1,979	5,336	1,893	
	開館1日当たりコスト(円)	207,333	210,660	292,551	220,521	
備考	前年度に対し、1㎡当たりコストが0,654円減少、利用者1人当たりコストが3,445円減少、開館1日当たりコストが72,030円減少している。主な理由は、前年度コロナ禍で休館などの利用制限や利用者の自粛等により利用減少したため行政収入が減少し、ホール空調工事を行ったため行政費用が増加したが、令和3年度は前年度に比べコロナ禍の影響が少なかったことである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	施設利用回転率(%)	36	33	20	34	36
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	男女共同参画に関する啓発、男女共同参画の拠点として区民相互の交流を推進するコミュニティ施設を確保する必要性は高い。					
現状・課題	○事業や施設をよりPRできる方法の検討 令和3年度は前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響等による利用者数の影響が少なく、行政収入も増加した。区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割も担っていることから、感染対策をしながらより広く区民に実施事業や施設をPRしていく必要がある。 ○施設の老朽化 有形固定資産減価償却率が年々上昇している。平成8年の開設から25年が経過し、経年劣化による修繕の必要箇所が増えているため、今後、大幅な維持補修費の増加が想定される。					
課題に対する現時点での考え	○利用件数・利用者数ともに増加を図るため、引き続き、新しい施策・PRを考えていく。 ○利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修・修繕に取り組んでいくほか、老朽化に伴う緊急の修繕が必要になった場合は、迅速に対応していく。					
議会、利用者等からの意見	(平成28年アクト21区民アドバイザー会議) 継続的な活動のための支援、事業への参加しやすさへの配慮					

